



大門小だより

2月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子



令和4年1月28日
横浜市立大門小学校

こんな大人になりたいな

副校長 佐々木一高

日照時間が少しずつ長くなる季節。春の訪れを感じた鶏が、卵を産み始めることとなりました。太古より夜明けを知らせる鶏は、夜と昼との境目を告げる霊鳥として尊ばれてきました。夜明けを告げるように、2年を越える長いコロナウイルスとの戦いの終息と、春の到来を伝えてほしいと祈るばかりです。

さて2022年4月、民法の一部改正に伴い、約140年ぶりに成年年齢が現行の20歳から18歳（国際的に一番多い年齢）に引き下げられます。小学校を卒業後、小学校時代と同じ6年間を経ると自動的に「成年（成人）」と認められることとなります。認められるとは、「一人で契約をすることができる年齢」「父母の親権に服さなくなる年齢」という意味であり、自分の意志が直接に反映されることとなります。一方で、自分が望まずとも否応なく大人と同じ厳しい義務や責任が生じるものもあります。

古来、日本の武家社会には、年齢・精神的にも一人前になったことを社会が認める人生の節目としての「元服」の儀式（12歳ごろから16歳）がありました。そして、クリアすべき基準としての「通過儀礼」が存在していたと聞きます。「一人で鹿を狩れる」「米俵一俵（約60キログラム）を担ぐ」ができたら合格だとか、「1日に一反（300坪）の田植え」ができたら一人前などということがそれにあたります。

さらに世界に目を移すと、「木の蔦を編んだもので足を縛り30メートルの高さからジャンプする（バンジージャンプ）」「サメを素手で捕まえる」「ライオンを狩る」「毒アリを集めた袋に手を入れて24時間の激痛と発熱に耐える」など、命に関わるような苦難や試練を必要条件としている部族も残るようです。

もちろん肉体的な面での通過儀礼は現代の日本には不要ですが、精神的な面での準備は果たしてどうでしょうか。ある企業が「あなたが思う『大人に必要な条件』とは？」についてアンケートをしました。

【1位】「常識、良識がある」82%

【2位】「自分の責任を自分で負える」80%

【3位】「他人や周囲に気遣いできる」「精神的に自立している」63%

<2019.1.16 kao>

こうしてみると、「社会の一員としての自覚」「自己責任の態度」「他者への思いやり」といった資質・能力を兼ね備えることの必要性を示しています。またそれらは、自然とその年齢になったら備わるものではなく、また18歳だとか20歳だとかの年齢とも関係もなく、人間にとって「当たり前なのが当たり前でできること」が条件であるともいえるでしょう。

そして、こうした条件を満たすための準備は、小学生のうちから学校や家庭、社会生活ではじめることが十分にできると感じています。大人がロールモデルとなり、子どもたちが「こんな大人になりたいな」「大人になるのも悪くないな」と、夢や希望、将来への期待をもてるような姿をみせることもその準備の一つなのかもしれません。

令和3年度も残すところ50日余りとなりました。2月もコロナ禍により教育活動が制限されることもありますが、従来どおりのご理解とご協力をお願いいたします。

子どもたちの活動から 1月



休み明け朝会 1月7日(金)

冬休みが終わり、令和4年が始まりました。本校では、朝会はテレビ放送で行っています。休み明けの朝会も、画面越しに校長先生と新年の挨拶を交わしました。12月の生活目標の振り返りや1月の生活目標の確認、そして、2年生の代表者が今年の抱負を述べました。新年の思いを、全校で高める機会となりました。



安全強化WEEK 1月7日(金)～14日(金)

本校では、安全でマナーの良い登下校をめざして、年間6回の安全強化WEEKを設定しています。開門時間より早すぎる時刻に登校しないように知らせたり、安全な道路の歩き方ができるように注意を促したりしています。今回は、職員が各門に立って子どもたちの登校の様子を見守り、適切な登校時刻の声かけをしました。子どもたちも意識して取り組み、適切な時刻に登校する人数が増えました。引き続き、ご家庭の協力も、よろしくお願いいたします。



書き初め 1月11日(火)～

1、2年生は各教室で、3年生以上は学級ごとに体育館で、書き初めを行いました。普段とは違う大きな紙に書くことに緊張しながらも、みな集中して取り組み、堂々とした作品を仕上げることができました。作品は各教室前廊下に掲示し、鑑賞しました。来校した保護者の方にも、見ていただきました。



4年生 オンラインブラインドサッカー人権教室 1月17日(月)

ブラインドサッカーの選手と協会の方を講師に迎えた、オンラインでの人権教室です。視覚に障害のある方の生活の様子や社会の中での活躍について話をうかがいました。また、目を閉じて動く体験もしました。子どもたちからのたくさんの質問に対しても、丁寧に答えていただきました。選手と協会の方が、何度も「いいですねえ!」と言っていたのが印象的でした。互いに支え合うことの大切さも知ることができたようです。



1年生 昔遊びの学習、個別級 たこ作り

1年生は、けん玉やおはじき、お正月遊びなど、冬の季節に合った遊びについて学習しました。友達と一緒に楽しく遊ぶ姿が見られました。個別級では、地域の吉川様からこの作り方を教わりました。自分たちが一生懸命作ったたこが空に向かって上がる様子を見て、子どもたちはうれしそうでした。いろいろな昔遊びを通して、地域の方と交流ができる日が待ち遠しいです。



最近の

各学年のようす

令和3年度も残すところ、2か月となりました。コロナ禍のため、いろいろな制限はありますが、子どもたちは様々な学習活動や友達との関わりなど、楽しく学校生活を送る姿がたくさん見られます。最近の各学年の様子をお伝えします。

1年生



生活科「ふゆとともだち」で、風を受けて走るおもちゃをつくりました。一年で一番寒い季節ですが、校庭で友達とおもちゃを追いかけながら、楽しく元気に遊びました。

2年生

まち探検で、本郷公園、瀬谷図書館、徳善寺のグループに分かれて訪問しました。各施設の歴史を知ったり、そこで働く人たちの想いを聞いたりしながら、大門のまちの良さを改めて感じていました。



3年生



3年生は1月から代表委員会への参加が始まりました。各クラスの代表児童は、少し緊張していましたが、クラスの意見を伝えたり、必要なことをメモしたりと堂々と参加することができました。

4年生

音楽では、「10歳のありがとう」を歌いました。図工「カードで伝える気持ち」では、これまで支えてくれた人に感謝の気持ちを表しました。10才の節目にふさわしい学習となりました。



5年生



保健の学習にて「心の健康」を学習しました。心はどのように発達するのか、不安や悩みへの対処方法についてを、養護教諭の菅原先生と、これからのことを交えて話し合いながら考えました。

6年生

「卒業を祝う会(仮)」に向けて、各クラスで合奏の学習が始まりました。管楽器を使用せず、感染症対策を徹底しての学習ですが、心を一つにした合奏をつくっていきたいと思います。



個別支援学級



図工の書き初めをしました。「とら」の文字を毛筆で書き、パスで絵を描き加えました。文字と絵を組み合わせ、干支のとらが完成しました。かわいいとら、勇ましいとら、いろいろなとらが並びました。



大門小学校のESD

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

寒い日が続きますが、ふれあい農園では、2年生や3年生、個別級の子どもたちが小松菜やブロッコリー、大根などを育てています。毎日登校時に農園に立ち寄ってから西門に入って行く2年生の姿や会話から、関心の高さと愛情が伝わってきます。

ハマロードサポートで中学生が農園斜面に植えた芝桜が開花しました。



毎朝、農園委員会の子どもたちは、寒い中で枯れた雑草抜きなどの整備を行っています。

児童支援専任から



来年度に向けて、新しい文房具、学用品を購入し始める頃かと思います。以下の点をご家庭で確認ください。

① 筆箱について

新しくご購入いただく際には「箱形の筆箱」をご用意ください。

② 上履きの記名について

児童理解の観点から、右の図のように記名してください。



名前は相手に向かってフルネームで書きます。

③ 各種ノートについて

大門スタンダードに記載していますのでご確認ください。